

「分水の森」の特性を生かす施策を

ソフト面での充実を図る



川合弘人議員

質問：…分水の森を所轄する課を統括する考えは。

町長：…公園を造るまでが建設課、維持管理は産業課と区分が決まっている。公園は完成間近であり最終的には産業課が管理する。

質問：…郷土に貢献した人たちを顕彰する資料館を分水の森に建設してほしいと要望があり、建設費3000万円は寄付で賄うとしているが検討する考えは。

町長：…館を造り、人をそこに集めることは若干の抵抗感がある。分水の森の検討委員会では必要性について検討してほしい。

質問：…教育的な視点から分水の森をどうみるか。

教育長：…文化、歴史、自然、さらに環境教育、健康教育からも教育的価値は十分ある。ただし、学校の教育活動で恒常的、積極的に活用するには無理がある。

質問：…豊かな自然の宝庫である公園の特性を生かす施策は。

町長：…毎日の訪問者が平均50人はいないと感ずる。町は投資をして自然を守っている。だが、貴重な植物があり、珍しい野鳥も生息していることがあまり知られていない。町内の子どもたちが植物観察するような森であると周知する作業ができていない。教育長にもお願いし、教育的な立場からまとめてほしい。教育的な場でも使え、町外にも発信される仕掛け、ソフト面での充実を図りたい。観光資源としても活用できる。

■「北通り線」先線と「役場通り線」

質問：…先線は盛り土工法を必要とするが、周辺の土地有効利用をどう考えるか。

町長：…道路両側の活用は民間でやってみようことが望ましい。町主体でミニ都市計画を行うことは今は考えていない。

質問：…役場通り線拡幅改良の10力年計画に変更はないか。

町長：…県のやり方、スピード感に対してしっかりプッシュし、何とか早める努力をしたい。

【その他の質問】

○テレワークの現状と将来像

電気柵に補助金が交付されないのは

明確な理由があれば実行する



五味平一議員

質問：…鳥獣害対策について種別ごとの進捗状況は。

町長：…農業は町の大黒柱の産業であると認識し対策に取り組んでいる。最近サルは被害が増えている。

質問：…近隣市町村との被害及び対策の情報交換は。また、小動物被害対策は。

町長：…山梨県方面のサル対策の専門家や、信州大学の研究家に依頼し相談している。近隣市町村との情報交換は重要と考え、アイデアを出し合っている。

産業課長：…小動物はイノシシ、ハクビシン、キツネ、サル、アナグマ、カラスの捕獲許可を出している。町は対策として、猟友会に捕獲許可を出し、免許のない個人にも捕獲許可を出しているが、制約のある捕獲用の箱わなを貸し出している。

質問：…私は、獣害対策として約15アルの畑に電気柵を設置し、作物の被害はなかった。産業課で電気柵に補

助金を出す議論があったと聞か。

産業課長：…平成26年4月から実施しようとして計画し、町の農業振興補助金の要綱に有害鳥獣被害防止設置事業を加えて補助金を交付しようとして計画したが、個人交付は時期尚早との結論となり、実施できなかった。補助金の内容は、町内に住所を有しており、町内に農地があり耕作する者を対象者とした。交付要件は、有害鳥獣侵入防止電気柵の資材費を購入する費用とし、経費は2分の1以内で、1世帯上限10万円を1回のみの申請に限るとするもの。

質問：…この要綱に沿って補助金を出す考えは。

町長：…理由を明確にして納得できたら行いたい。

※私の電気柵は約15アルを囲む。電線4段、高さ約50センチ。費用はソーラー発電によるバッテリーで約8万円です。